

# 手をつなぐ親と子



令和8年2月 発行:登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No.54

## ～入学を前にして～

入学まで1か月近くとなり、小学校や中学校への入学を控えた子どもたちや保護者の皆さんには様々な不安をおもちのことと存じます。



### いろいろな不安がありますね…

#### ① 登下校の交通や不審者への不安

特に新たに小学校に入学するお子さんにとっては大きな不安でしょう。

でも、子どもは思ったよりたくましく、学校でも徐々に慣らしていく工夫もしています。見守り登下校などの地域ボランティアも盛んにおこなわれていますのでご安心ください。できれば登下校の道を間違えないように練習しておくとう安心ですね。

#### ② 勉強についての不安

「うちの子、ちゃんと勉強についていけるかな」と不安を感じる保護者の方も多いことでしょう。日々の学習や将来の受験を思うと心配になるものです。

けれど、子どもにはそれぞれ得意なことや好きなことがあります。点数や順位だけに目を向けると、親子ともに息苦しくなってしまいます。

大切なのは、必要なときに自分から学ぼうとする気持ちと基礎を育てることです。目標ができると、子どもは大きく伸びます。人と比べるのではなく、お子さんの良さを大切に伸ばしていきたいですね。



### ③ SNS等に関する不安

子どもの世界でも、携帯電話やスマートフォンなどの利用により、危険なサイトへのアクセスやSNSでの人間関係トラブルが起きています。

ただ、これらの危険から子どもを守ることができるのは、家庭、つまり保護者の皆さんだけであることをご理解ください。



## 登別市「携帯スマホ3つのルール」を守りましょう！

- ①使用時間 小学校3・4年生は一日1時間以内、  
小学校5・6年生や中学生は一日2時間以内
- ②使用時刻 小学校3・4年生は夜7時、小学校5・6年生は夜8時、  
中学生は夜9時まで。  
それ以降は自分の部屋に持ち込ませないようにする。
- ③フィルタリング 携帯電話やスマートフォンなどには、フィルタリングをかける。

自分専用の端末を持つと利用範囲が広がり、リスクも高まります。好奇心の強い子どもは、危険なサイトへのアクセスや不用意なやり取りをしてしまうこともあります。

また、LINEなどのSNSでの軽い投稿が、いじめにつながる場合もあります。

端末を持たせる以上、見守りは保護者の大切な役割です。何を見て何を発信しているのかを確認し、理解した上で使わせることが大切です。

### 保護者として…

#### ① 正しく愛情をかけて

子どもの喜ぶ顔を見たいのは自然な気持ちです。しかし、健やかな成長のためには、必要なときに「だめなことはだめ」と伝える毅然とした姿勢も大切です。子どもの顔をうかがうのではなく、愛情ある一貫した態度を心がけたいですね。



#### ② 一緒に泣き笑い、感動を共有して

子育てに近道はありません。しっかりと子どもを見つめ、親子の時間を大切にして、一緒に喜んだり悲しんだり感動を共有することが大切です。過ぎてしまえばあっという間の年月です。子育てを十分に楽しんでください。

## **誰でも相談できます!** ~身近に相談できる人がいます~

- 子ども相談支援センター・・・[0120-3882-56](tel:0120-3882-56) (24時間対応)
- 24時間子供SOSダイヤル・・・[0120-0-78310](tel:0120-0-78310) (24時間対応)
- 登別市いじめ相談(教育相談)電話・・・[85-0085](tel:85-0085) (月~金 9時~17時)
- 登別市教育指導室「メール相談」・・・[tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp)